

Center for International Education & Exchange

国際教育交流センター

国際教育交流センター概要

国際教育、国際交流、語学教育支援をワンストップで実施

国際教育交流センターは、国際教育、国際交流及び語学教育支援等に関する業務をワンストップで実施する組織として、グローバル人材の育成に取り組みます。

主な業務

●国際教育の企画・調整

- [学部] もやいすとグローバル育成プログラム等の実施支援
- [大学院] 高度グローバル人材育成のための国際協力・貢献活動を終えた者の受入れ支援及び国際教育・貢献活動を組み込んだ大学院教育の実施支援



授業「Moyaist Global Entry Training」



授業「もやいすとシニア(グローバル)育成」

●国際交流の推進

- ・海外協定校との交流
- ・学生の留学及び受入れ留学生の支援 等



モンタナ州立大学ビルングス校での短期英語研修



留学生の卒業祝賀会

●語学教育の支援

- ・Global Loungeの運営
- ・TOEIC® IP (団体試験)の実施 等



Global Loungeでのランチタイム英会話



Global Loungeでのカフェイベント

挨拶

国際教育交流センターは令和2年(2020年)4月の設立と同時に、コロナ禍という思いもよらぬ障壁の前に、その活動を制限せざるを得ない状況となってしまいました。本学学生の海外留学や海外からの留学生を迎える機会が減少する一方で、海外の大学生との国際交流イベントや語学学習等はオンラインや対面、更にハイブリッド形式で数多く行うなど着実に成果をあげています。

本センターでは、世界で通用するグローバル人材の育成のため、学生生活の中で異文化に触れる機会をより多く提供していきたいと考えています。本学の特徴である「もやいすとグローバル育成プログラム」(留学や海外インターンシップ等を含む)、本センター内に設けられたGlobal Loungeでの常駐コーディネーターによる英語チュータリングや国際交流イベント等を通して学生へのサポートを行っています。更に、学部だけでなく、大学院においても、専門教育とともに海外において国際協力・貢献活動を行う「高度グローバル人材育成プログラム」を実施しています。

また、本学で学ぶ留学生に対しても学生生活がより充実したものになるように、奨学金、留学生サポーター制度、住居費助成制度の拡充等の経済的支援の他、日本語講座(チュータリング)等により積極的にサポートをしています。留学生が母国文化を紹介する「カフェイベント」や母国語講座を通じて、本学学生との交流や、熊本県教育委員会との高大連携を基に高校生等との交流を実施することにより、留学生のネットワークの拡大を支援しています。更に、コロナ禍の影響により日本入国できない留学生に対しては、オンライン留学を実施しています。

国際教育交流センターは今後も、本学のグローバル化推進の基幹組織として更なる発展を目指し様々な取り組みを行い、学生のサポートを充実させていきます。

国際教育交流センター
センター長 Richard Lavin

開館時間

平日：午前8時30分から午後5時15分まで ※土・日曜日、祝日、振替休日及び年末年始は休業日です。






熊本県立大学における国際化の取組み

国際教育・国際交流・語学教育支援の3本柱でグローバル人材を育成

●国際教育(学部学生対象)

もやいすとグローバル育成プログラム

地域課題に柔軟に適応し、グローバルな視点を持って活動できる学生を育成するためのプログラムです。
1年次から4年次までの体系的な学びとグローバルな視点を持つための海外留学等を提供し、世界でも活躍できる学生を育成します。

	1年次		2年次		3年次		4年次	卒業後	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
語学教育	<p>もやいすとグローバル育成プログラム説明会開催</p> <p>●選択英語科目の履修推奨 Language and Culture I・II、Intensive English 等</p> 	<p>Moyaist Global Entry Training</p> <p>◆2年次以降のもやいすとグローバル育成プログラムに参加するための準備をします。</p> <p>目標 TOEIC®=550点</p> <p>英語力測定</p>	<p>Moyaist Global Training I</p> <p>◆ディベートやディスカッションを中心とした授業で英語を学ぶ</p> <p>目標 TOEIC®=600点</p> 	<p>Moyaist Global Training II</p> <p>目標 TOEIC®=650点</p> 	<p>Moyaist Global Training III</p> <p>目標 TOEIC®=700点</p>		<p>英語力測定</p> <p>参考 TOEIC®スコア730点=どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている。(「TOEIC®スコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表」より)</p>		<p>●海外展開している(しようとしている)熊本県内の企業や自治体等に就職し、グローバル人材として活躍するなど、将来の熊本県の振興・発展に貢献</p> <p>●高度グローバル人材として地域社会の国際化をリードしていくため、大学院へ進み、国際教育・貢献活動を組み込んだ専門教育を履修</p> 
留学・国際教育	<p>2年次以降のもやいすとグローバル育成プログラム参加者専用の科目を履修するには、基準の英語力(TOEIC®550点)が必要です。</p>		<p>Kumamoto Studies</p> <p>◆熊本・日本の文化・文学、環境、社会などについて英語で学ぶ</p> 	<p>もやいすとシニア Global※1</p> <p>◆講義(異文化理解、ビジネスパーソン講話等)+短期英語研修</p>	<p>シニア認定要件:TOEIC®650点 他</p> <p>グローバル実践活動</p> <p>◆海外インターンシップ、海外ボランティア等のグローバル活動</p>	<p>もやいすとスーパー Global※1</p> <p>スーパー認定要件:TOEIC®730点 他</p>	<p>交換留学</p> 	<p>自国文化・異文化理解(Global Loungeにおける英会話、Café Event等への参加、学内外での国際交流等)</p> 	
共通教育	グローバル科目※2 (Japan Studies科目※3含む) の履修								
専門教育	グローバル科目※2 (Japan Studies科目※3含む) の履修								

※1 「もやいすとシニア Global」・「もやいすとスーパー Global」…もやいすとグローバル育成プログラムにおける活動を一定の基準に沿って評価、認定します

※2 「グローバル科目」…外国語能力の向上や国際理解・異文化理解を深める科目

※3 「Japan Studies科目」…日本や熊本の文化、文学、環境、社会等に関する内容を英語で学ぶ科目

1 どんな能力を身に付けることができますか

① コミュニケーション能力
(語学力・情報発信力)

② 主体性・積極性、
チャレンジ精神、
協調性・柔軟性、
責任感・使命感

③ 自国文化・異文化に
対する理解



2 プログラムへの参加要件はありますか

2年次以降のもやいすとグローバル育成プログラム参加者専用の科目を履修するには基準の英語力 (TOEIC®550点) が必要です。「TOEIC®で550点取れるかな?」と不安な方も大丈夫! 1年次後期の授業「Moyaist Global Entry Training」でプログラムに参加するための準備をサポートします。

3 参加学生にはどんなメリットがありますか

- (1) プログラム参加学生のために用意された科目を履修することで、自国文化・異文化に対する理解を深め、英語運用能力の向上を目指すことができます。
- (2) プログラム参加学生のみ海外インターンシップや海外ボランティア等を行う「グローバル実践活動」の履修が認められ、経済支援を受けることができます(プログラム参加費のうち2分の1の額の助成金、上限10万円)。
- (3) もやいすとグローバル育成プログラムにおける履修状況等を一定の基準に沿って評価し、「もやいすとシニア Global」・「もやいすとスーパー Global」として認定し、もやいすとグローバル認定証を授与します。認定証は就職活動等で在学中の活動をアピールする際に役立てることができます。
- (4) 在学中に交換留学や海外インターンシップ・ボランティア等を行う場合、語学力向上のための支援や留学相談等のサポートを受けることができます。
- (5) 全学部の学生を対象としたプログラムであるため、学部の垣根を超え、海外に興味のある仲間と授業等を通して出会い、切磋琢磨しながら自分の夢に向かっていくことができます。

4 プログラムで身に付けられる英語力は

「もやいすとシニア Global」として認定されるためにはTOEIC®650点、「もやいすとスーパー Global」として認定されるためにはTOEIC®730点が必要です。ただし、このプログラムでは英語力だけでなく、1に挙げた①コミュニケーション能力、②主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感、③自国文化・異文化に対する理解を身に付けることも重要です。

5 卒業後の進路は

海外展開している(しようとしている)熊本県内の企業や自治体等に就職し、グローバル人材として活躍するなど将来の熊本県の振興・発展に貢献してほしいと考えています。さらに、大学院に進学し、地域社会の国際化をリードしていくため、高度グローバル人材となるための国際協力・貢献活動を組み込んだ大学院教育を受けることもできます。

●国際教育(大学院生対象)

高度グローバル人材育成

令和元年度(2019年度)において、JICAと熊本県が締結した「熊本県と独立行政法人国際協力機構との連携協定」に県の発展に貢献する人材の育成が盛り込まれたことなどを踏まえ、本学ではグローバル人材育成を積極的に推進し、学部教育だけでなく、大学院教育においても、海外体験(国際協力・貢献活動)と大

学院の専門教育を実施し、熊本のグローバル化に貢献できる人材の育成に取り組むこととしています。

大学卒業後は、熊本県内の企業、行政機関等に就職し、熊本のグローバル化をリードする人材として活躍し、地域の振興・発展に貢献してほしいと考えています。

国際協力・貢献活動を終えた方

○令和元年度(2019年度)に概ね2年間の国際協力・貢献活動の経験がある方のための入試制度として、社会人特別選抜(国際協力作)※1を創設しました。

○国際協力・貢献活動の体験を活かしたキャリア形成として、大学院博士前期課程で2年間専門教育を受けます。

※1 出願に当たっては、あらかじめ指導を希望する教員と相談が必要です※2。また、事前にご相談頂ければ、研究室訪問も可能です。ご興味があれば、国際教育交流センターまでご連絡ください。

※2 研究者情報 <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/research/researcher/>

これから国際協力・貢献活動を経験したい方

○大学院在学中に国際協力・貢献活動を経験し、卒業後は高度グローバル人材として活躍することを目指す方のための大学院教育です(令和2年度(2020年度)開始)。

○講義の履修や国際協力・貢献活動、学位論文作成等、3年間の※3専門教育を受けます。

○令和4年度(2022年度)からJICAとの連携により、派遣前トレーニングを経てインドネシア等に1年間海外協力隊員として派遣され、「コミュニティ開発」、又は「日本語教育」のいずれかの活動に取り組むことが可能になります(ただし、現地の受入れ機関との調整や治安情勢等により、変更の可能性があります)。

※3 必要に応じて4年間を限度として延長を認めます。修学年限を3年間又は4年間とする場合は、長期履修制度が適用されます。なお、長期履修制度が適用されると、授業料の総額は、博士前期課程では2年間分と同額になります。また、年額は、総額を長期履修が認められた期間の年数で除した額になります。

優遇措置

○入学者は入学金が半額免除となります。

○大学院で奨学金を利用した方が、卒業後に熊本県内に就職した場合、奨学金返還に対する支援※4の対象となることがあります。

※4 「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」による支援となります。

<https://www.kumakatsusupport.pref.kumamoto.jp>

◆熊本県立大学大学院◆

文学研究科 日本語日本文学専攻・英語英米文学専攻

文学研究科は、多様な価値観がせめぎ合う現代社会の中で、言語・文学研究の成果を人間生活の中に生かしていく方途を模索し、的確に実践していくことを理念としています。専門性を進化させ、英知を磨き、真がんと分別する洞察力を養い、人間文化の進展に寄与することをめざす研究の場です。

環境共生学研究科

環境共生学研究科は、人間と人間を取り巻く生物学的な要因・大気・水・森林・土壌・人工物等の非生物学的な要因からなる環境とが共生するためのあり方、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策等を科学的に追求することをめざす研究の場です。

アドミニストレーション研究科

アドミニストレーション研究科は、複雑・多様化した社会的諸課題を諸学問の成果と学際的な協働によって実践的かつ創造的に解決していく理論の発展と実践することをめざす研究の場です。









※参考(大学院に関する情報): <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/graduate/>



● 国際交流

海外留学・研修

本学では、現在、右記の15の大学等と協定を締結し、本学学生の派遣や、協定校の学生受け入れ等を行っています。

学生交流協定校	 モンタナ州立大学ピリングス校(アメリカ)  祥明大(韓国)
学術交流協定校・機関	 モンタナ州立大学ボーズマン校(アメリカ)、チャタム大学(アメリカ)、モンタナ大学(アメリカ)  海洋大(韓国)、ソウル市立大(韓国)  フライラック大学(タイ)、カセサート大学(タイ)  広西大学(中国)、海南省疾病予防管理センター(中国)  台北科技大学(台湾)、開南大学(台湾)、中原大学(台湾)  プラウイジャヤ大学(インドネシア)

交換留学

単位互換及び授業料相互不徴収を内容とした留学制度を利用して、本学に在学したまま祥明大(韓国)には10ヶ月間、モンタナ州立大学ピリングス校(アメリカ)には9ヶ月間の留学ができます。本学在学中の学部学生であれば、誰でも応募することができます。ただし、モンタナ州立大学への留学の場合は、TOEFL®PBTスコア515点(iBTの場合は68点)が必要です。留学先で修得した単位は、科目により学部教授会の承認を得て単位認定されます。

- 募集時期 祥明大(韓国)／6月頃 モンタナ州立大学／10月頃
- 派遣時期 祥明大(韓国)／3月～12月 モンタナ州立大学／9月～翌5月



韓国・祥明大



アメリカ・モンタナ州立大学ピリングス校

短期語学研修

モンタナ州立大学ピリングス校(アメリカ)には1ヶ月間の語学学習と文化体験を目的とした語学研修に参加できます。ホームステイを通じて海外の文化や習慣を経験することができます。

- 募集時期 モンタナ州立大学／10月頃
- 派遣時期 モンタナ州立大学／2月中旬



モンタナ州立大学での短期英語研修



留学支援

- オフィスアワーを利用して、留学経験のある教員に留学等の相談をすることができます。
- 海外協定校への留学を希望する学生に対し、留学制度や奨学金の説明会を実施しています。留学経験のある学生に話を聞くこともできます。
- 留学を希望している学生に対し、海外の大学での授業や生活についてのアドバイス等を行う「留学対策講座」を開講しています。
- 学生交流協定に基づき派遣される交換留学生については、「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一定期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています。
- 海外への留学・研修を行う学生(後援会会員のみ)に期間に応じた助成金を支給しています。

留学生との交流

留学生との交流会

Global Loungeでは学生のみなさんに異文化理解や語学学習の機会を提供することを目的に留学生との交流や世界各国の紹介等をCafé Eventとして月に数回開催しています。その一環で、本学に在籍している留学生との交流会を開催しています。

月ごとに対象国を決め、その国の出身留学生からの自国文化の紹介や、参加者からの質疑応答などを行っています。各国の文化に触れ、理解が深まるだけでなく、その後の留学生と日本人学生との交流の活性化にも繋がっています。



祥明大からの留学生との交流会



中国からの留学生の自国文化紹介

短期語学研修団の受け入れ

祥明大(韓国)、モンタナ州立大学ピリングス校、プラウイジャヤ大学から語学学習と文化体験を目的とした研修団を受け入れています。



祥明大からの研修団



モンタナ州立大学からの研修団



プラウイジャヤ大学からの研修団

国際交流団体の受け入れ

内閣府の事業や非営利活動法人等の国際交流団体を積極的に受け入れ、世界各国の学生との国際交流を行っています。



内閣府事業「東南アジア青年の船」



NPO「World Campus」

● 語学教育支援

Global Loungeってどんなところ？

Global Loungeでは、楽しみながら語学を学ぶことができます。国際教育交流コーディネーターが常駐しており、学生のみなさんの語学力に合った様々な支援を受けることができます。また、語学学習に役立つ様々な教材や機材（書籍、DVD、ゲーム、iPad、パソコン等）を利用できます。さらに、海外をテーマにしたイベントも定期的に開催しています。

楽しく快適に語学が学べる環境



各種デバイスをディスプレイに接続して、卒論発表の練習や勉強会に活用できます。



ディスカッションやグループ学習など活用方法は自由自在です。



異文化に触れるために外国の映画やドラマをDVDやBlu-rayで鑑賞することができます。



iPadやノートパソコンの貸出を行っています。iPadのアプリやe-learningを使って、語学学習ができます。



各種語学検定（TOEIC®、英検等）関連書籍、洋書、英字新聞・雑誌の貸出を行っています。



留学生による中国語と韓国語講座を定期的に開催しています。

常駐コーディネーターが英語力UPをサポート

●英語チュータリング

マンツーマンまたは小グループで1セッション30分の英語チュータリングを予約制で実施します。各自のニーズに応じた指導を行います（英会話、論文・プレゼン・面接の準備、語学学習アドバイス等）。

●ランチタイム英会話

ランチを持ち寄って、気軽に英会話を楽しみましょう。シチュエーション別英会話では空港や入国審査、レストラン等のシチュエーションを想定して必要な表現を学ぶことができます。

●グローバルダイアローグ

外国人留学生と日本人学生が、さまざまなテーマについて意見を交わしながら相互理解を深めます。

●ブカレスト大学日本語学科とのランゲージパートナーズプログラム

日本語を学びたいルーマニア人学生と英語を学びたい本学学生がオンラインで、一対一またはグループで語学を通して自由に交流を行います。

国際教育交流コーディネーターからのメッセージ

There is something special in all of us, regardless of age, gender or nationality, but somehow most of us are not aware of, or are having a hard time identifying our strongest points. The sooner we are aware of our strengths, the greater the chances of achieving success. It is my goal to help you find the best in you and to support you in building your own path to success.



International Education & Exchange Coordinator

Viorel Ristea

Café Eventで海外を身近に感じる

学生のみなさんに異文化理解や語学学習の機会を提供することを目的に、留学生との交流や世界各国の紹介等をCafé Eventとして定期的に開催しています。イベント情報は、学内掲示板のほか、学生ポータルサイトの国際教育交流センター（CIEE）でお知らせしています。



TOEIC®IPの実施

TOEIC® (Test of English for International Communication) は、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する試験で、その成績は就職活動や本学のもやいすとグローバル育成プログラムに参加する際に重視されます。本学では、後援会との共催で団体特別試験制度（TOEIC®IP）を年2回実施しています。

英語e-learningシステム

本学では、学生のみなさんの英語能力向上を図るため、自律学習を支援するe-learningシステム（ALC NetAcademy NEXT・EnglishCentral）を導入しています。英語のリスニング力強化や語彙力増強に役立てることができます。

熊本県立大学 学内案内図

